

令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月13日

伊丹市立天王寺川中学校

(学級数 25学級、児童数 831人)

1 本年度の取組状況（11月末現在）

(1) 確かな学力の向上

- ① 自ら学び考える主体的に取り組む力の育成
- ② わかった、できた実感できる授業展開による基礎・基本の定着及び活用する力の向上
- ③ 終礼学習を活用した数学・英語の基礎基本事項の定着
- ④ 学習規律の確立
- ⑤ 個に応じたきめ細やかな指導支援

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

- ① あいさつの習慣、規則正しい生活習慣の確立
- ② 清掃の徹底や掲示物の充実などによる、学習環境の整備
- ③ 規範意識、命の尊重、思いやり、自己肯定感等の醸成
- ④ 問題行動や不登校生徒の減少に向けた未然防止・早期対応
- ⑤ いじめ防止と早期解消の取り組みの推進
- ⑥ 食に関する正しい知識と判断力の育成
- ⑦ 「伊丹市中学校運動部活動に関する方針」に基づく適切な部活動運営

(3) 信頼される開かれた学校づくり

- ① 学校だより、学校ホームページ等による天中の教育の積極的な発信
- ② 地域の教育資源の積極的な活用（50周年式典の開催）
- ③ コミュニティスクールにより、地域及び校区内学校園と協働する体制づくり
- ④ P T Aや地域主催の行事等への積極的な参加（ふれあいのつどいの開催、幼稚園うんどう会への生徒参加、地区夏祭りへの教員参加）

2 めざす学校像

- (1) 実現させたいと願う将来像である「夢」をしっかりと持てる場。
- (2) 信念を持ち、勇気を持てる、与えることなど「誇り」を育むことのできる場。

3 めざす生徒像

- (1) 自ら進んで学び考える生徒
- (2) 自らきちんと挨拶ができる生徒
- (3) 強い意志をもち最後までやりぬく生徒
- (4) 自分を大切にする生徒
- (5) 思いやりのある生徒

4 めざす教師像

- (1) 目標（夢）を持たせる教師
- (2) 「わかる・できる」授業を創造する教師
- (3) 良さを引き出し、主体性を育む教師

5 我が校の特色

- (1) 全職員による「朝のあいさつ運動」「見守り活動」や全校一斉による「朝読書」の実施等を通して、温かい人間関係づくり、落ち着いた学習環境づくりに努めている。
- (2) 部活動を活性化させ、体力・気力の充実、規律ある生徒の育成をめざしており、多岐にわたり活躍する生徒が多い。
- (3) P T A・校区の地域活動が盛んで、「地域の子どもは地域で守り育てる」という風土が強く、支援体制が充実している。

6 我が校（園）の研究概要

- (1) 研究テーマ「学びに向かい、学びを生かす生徒の育成」
～主体的・対話的で深い学びの実践による、「できる・わかる」授業の構築
- (2) 重点目標 ①自ら学び考える主体的な生徒の育成
②授業研究、生徒理解による学習支援体制の充実
③開かれた学校づくりによる、家庭・地域との連携

7 学力向上に向けた取組

- (1) 自校の全国学力・学習状況調査結果を分析し、情報共有を図り、授業力向上、指導力向上を推進する。
- (2) すべての教員が公開授業を行い、授業力向上に取り組む。
 - ①意図的、計画的に授業の「振り返り」の時間を活用して、自分の考えを書いたり、発表したりする場面を取り入れる。
 - ②宿題の出し方等の工夫を図り、自ら計画を立て、予習・復習等が行える生徒を育成していく。
 - ③テスト1週間前に朝読書を朝学習に替えて、学力の基礎基本の定着を図る。
 - ④携帯・スマホ教室を開催して、適切な携帯・スマホの使用方法及び使用時間の削減を図り、家庭学習や読書教育の充実に繋げていく。
 - ⑤習熟度授業によるきめ細やかな個別指導や、放課後学習、土曜スクール等により学力の底上げを図る。
 - ⑥「魅力ある学校づくり」を推進し、不登校の減少を図るとともに、家庭との連携による基本的な生活習慣の向上を推進する。

8 教職員の勤務時間適正化に向けた取組

- (1) 生徒と向き合う時間の確保
 - ①会議時間を短縮する。
 - ②教育課題に即した分掌の見直しを定期的に行い、業務のスリム化を図る。
 - ③校務のICT化及びペーパーレス化を推進する。
 - ④分掌のマニュアル化を図る。
 - ⑤定時退勤日、ノー会議・部活デーを設定し、徹底を図る。
- (2) 教職員の意欲を喚起する取り組み
 - ①市内外の研究会への積極的な参加を促し研鑽を積ませ、教育に自信の持てる人材を育成する。
 - ②OJT 促進による教員の指導力向上、重要ポストへの積極的登用によるミドルリーダー育成に努める。

9 今後に向けて

平成から令和へと新しい時代を迎える。

「令和」には、厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人の日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることが出来る、そうした日本でありたいとの願いがこめられているのだそうだ。時を同じくして天王寺川中学校も、今年度、創立五十周年という、記念すべき節目の年を迎えた。夢と希望に満ちた未来に向けて踏み出す節目の時であり、国も学校も、生徒たちも、共に、新たな道へと、自らの歴史を刻んでいく、はじまりの年となった。

本校では、「自分を育て 自分を生かし 社会を明るく」という校訓のもと、学校教育目標を「夢と誇りのある生徒の育成」と掲げ、授業や行事、部活動の充実により、生徒が自分の意志・判断で、且つ自ら責任を持ち行動する態度を育てることに努めている。

中学校の期間は、生徒にとって、心身ともに子どもから大人へと大きく変化する時期だが、生徒達は、活発で明るくバイタリティにあふれ、素朴さ、素直さを持ち、何事にも前向きに日々の学校での教育活動に取り組んでいる。特に部活動が盛んであり、運動部、文化部ともに毎年、素晴らしい活躍をしてくれている。また、各種作品展等で多くの生徒が入賞し、日頃の取組の成果を発揮している。

現在、活躍する生徒を支援するため、学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置し、学校、保護者、地域、延いては校区内学校園がお互いに手を取り合い協働する体制を目指し取り組んでいる。

令和2年度も、さらなる教育活動の充実を図るため、「確かな学力の向上「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される開かれた学校作りの運営」を目標に据え、生徒が学びに向かい、学びを生かす取り組みを高める中で、生徒に「夢」を持たせ、「誇り」を育む教育に勤しんでいく。本校での学びをとおして、生徒が、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって主体的且つ意欲的に学び続けてくれることを強く願い取り組んでいく。

伊丹市立天王寺川中学校 校長 早崎 潤

我が校のHPのアドレスは・・・<http://www.tenn.itami.ed.jp/>